

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 水辺再生課
 担当名: 水辺再生事業担当
 内線: 5118

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B28	川の国埼玉はつらつプロジェクト推進費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の国埼玉はつらつプロジェクト推進費	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	河川法第9条第2項		宣言項目				
					分野施策		051246 川の再生		
1 事業の概要 平成20年度から「水辺再生100プラン」、平成24年度から「川のまるごと再生プロジェクト」に県民や市町村と協働して取り組んできた結果、水辺空間で地域活動が広がり、地域の共有資産として成長してきた。 こうした広がりを一層推進するため、市町村の地域振興の取組と連携した水辺空間の整備・拡充を行う「川の国埼玉 はつらつプロジェクト」を実施する。 (1) 川の国埼玉はつらつプロジェクト推進費 事業費の節減による減額 △1,952千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 調査・設計費 167,000千円 施設整備内容の検討に必要な調査、測量及び設計 イ 施設整備費 941,000千円 遊歩道整備、親水護岸、広場整備、水辺再生箇所の改修など (2) 事業計画 ア 平成29年度 ・調査、設計及び施設整備 21箇所 遊歩道整備、親水護岸、広場整備、水辺再生箇所の改修など 遊歩道整備 イ 平成30年度 ・調査、設計及び施設整備 19箇所 遊歩道整備、親水護岸、広場整備、水辺再生箇所の改修など (3) 事業効果 ア 市町村の地方創生や観光振興等の地域振興の取組と連携して、水辺空間を活かしたまちづくりや観光地づくりを推進し地域活性化を図るとともに、再生した水辺空間を地域の共有資産としていく。 イ 県、市町村、県民が協働する仕組みで再生した水辺空間を地域が主体的に活用することによって、その効果を川沿いだけでなくまち全体に広げるような展開を図る。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・川の国応援団美化活動団体による清掃活動 ・川を活用する市町村が県などの関係機関や団体、地域住民等が参画する協議会を設置し、具体的な利活用、整備計画、維持管理について検討する。 (5) 補正予算の概要 ア 事務費の節減による減額補正					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% (通常分90% 財対分0%) 交付税措置なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×4人=38,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
				財 源 内 訳					
予算額		県 債						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,952	△2,000						48	1,106,048
現計額	1,108,000	1,100,000						8,000	